

部屋からつづく心地よい空間

<Dorte Antonsen さんのお宅訪問>

レポート：田嶋尚美

★はじめに

夏代さんのご主人の妹さんである Dorte Antonsen (ドーテ・アントンセン) さんからのご提案で、今回は素晴らしい国民学校を見学することができました。

ドーテさんは、数年前に定年を迎えるまで長く教員として勤めてこられ、現在は 90 m²の住宅に一人暮らしをされていらっしゃるようです。そのご自宅にお招きいただきました。

平屋建ての集合住宅で、敷地内はきれいに管理され、シンプルな玄関口が並んでいました。これはスケジュールにはない、全くのご厚意によるものでしたので「いいのかしら、何だか申し訳ない」という気持ちのまま玄関を入りました。

★爽やかで清々しい空間

さて、部屋に入った私は...先ほどの遠慮の気持ちはどこへやら、キョロキョロしながら感激しつつ、凶々しくもバシバシと写真を撮っていました。そこは、まるでロイヤルコペンハーゲンが住まい全体に穏やかになじんだような、青と白を基調とした爽やかで清々しい空間でした。

中庭には穏やかなブルーやラベンダー色のガーデン家具とパラソルがあり、樹々の緑と優しいカラフルな花々が相まって、部屋からつづく心地よい空間になっていました。

その中庭に面してダイニングテーブルセットが同色系で 2 か所、リビングには座り心地の良いブルー系のソファと椅子。

★環境や時間を大切に

あちこちに飾られたお孫さん達の可愛い写真、ぬいぐるみがたくさん寄り添っている予備のベ



ッドルーム、多種多様なビン類（ワインでしょうか？）は素敵な整列をしています。しばしば訪れるご家族やお友達との賑やかな時間が目に浮かぶようです。

キッチンは穏やかなサーモンピンクと白、スパイスや調理器具も使いやすそうなオープン収納でおしゃれに並んでいます。

書斎にはパソコンと編み機。カラフルな糸も可愛いインテリアになっていました。お子様達が独立された後、しばしばご家族やお友達と楽しい時を過ごしつつも、ご自身の環境や時間を大切にして過ごされているように感じられました。

安心して歳を重ねることができる社会が前提にあるデンマークとは異なる日本ですが、私も遠くない将来、そのように日々を過ごしたいとつくづく思いました。

ドーテさん
本当にありが
とうござ
いました。

